



「図書館はあなたの宝物殿」

図書館事務次長 若松 昇

人が2人以上おれば社会が形成され、その社会生活では人が人として共に生きていくためにもつべき姿勢として、「礼節」というものが大切な潤滑油としての働きをなし、快い人間関係のなかで豊かな人生を形成していけるものではないかと思います。

「礼」は、儒教の「仁義礼智信」の五常の一つに組み込まれ、人としての真心の表現、人の道として踏み行うべき動き、そしてそれがさらに「作法」として形成され、倫理規範から美の形態にまで昇華されてきたものと思われまふ。

中国・春秋時代（紀元前770～403の約360年間）の管仲の著『管子』のなかに「衣食住足りて礼節を知る」とあります。即ち、衣服、食事、住居の人間の生活の三要素が満たされて初めて人間は礼儀をも心掛けるようになるとの意味です。しかし、この言葉が記されてから既に約2400年以上もの人間の歴史が刻まれながら、今の時代においてもなお、人間にとっての最大の命題ではなかろうかと思ひます。なぜならば、美しい衣服を毎日のように取り替え、美食・飽食で肥満し、冷暖房の完備した瀟洒な家に住んでいても、本当に礼節をわきまえる人間としての成長を人々が常に心掛けているのでしょうか。街なかで、電車のなかで、また新聞の記事にとどまらず、日常の対人接応においてすらも「礼節」があればいやな思いをしなくて済むであろう悲しい出来事に接することが、自戒を含めて私たちには多いのではありませぬか。

この紀元前数世紀の時代にあつて、当時、書を読むことはごく限られた階級の特権でしかなかつた時代、貧しい一般の人々にとって、最小限の布切れをまとうこと、飢えないこと、雨露をしのぐことが精一杯の生活であつた時代では、それでも「人としての尊厳は、襤褸（ぼろ）をまともしても礼節をわきまえることにあり」という気高さも人の生き方として大切にされた時代であろうかと思ひます。くどくどと書きながら私が申し上げたいことは、学生の皆さんの図書館生活の中に、ぜひ高等教育を受ける最高学府の学生に相応しい「礼節」をわきまえた利用の仕方をお願いしたいことです。

図書館を傷つける、ガムを絨毯に吐き捨てる、哄笑雑談する、一人で複数の座席を占有する、あげくには図書館の無断帯出といった無作法や共同生活を阻害する言動が、一部の者とはいえ、残念ながら何れかのことが日々見受けられ、図書館を愛する者として悲しい思いにさせられるのです。

この度、図書館を利用する学生からのアンケート調査を実施し、その集計概要を本号に掲載していますが、館内秩序・雰囲気の項での、特に学期試験中の館内の騒々しさについての回答は、授業時間中でのそれと同様に、大変多いであろうとの予想のとおりでした。

ところで、図書館の歴史が大変長いことはご存じと思ひます。人類文明の母胎と言われるメソポタミアでは紀元前650年頃の楔形文字が記された粘土板が多数出土したアッシリアの王宮跡の一部が、現認された最古の図書館とされているそうですが、神殿図書館そのものはさらに1000年以上も前から設置されていたようです。また、古代エジプトには、植物性の紙という特性から破損消滅しやすい書写物である「パピルス文書」を保有する図書館が大量の情報を蓄積していたはずですが、紀元前1300年頃の多数の粘土板の出土により、図書館の存在が確認されています。この時代、日本はまだ新石器時代と言われる正史以前の縄文時代に当たるようです。

図書館とは、そのように長い歴史の中で大切にされ、育まれてきた文化尺度の証人でもあります。ぜひ、まずは「あなた」が真っ先にこの図書館を「我が心の宝物殿」として大切にしていたいただきたいのです。良好な館内秩序と雰囲気は、知性豊かな「あなた」に委ねられているのです。

時は秋。食欲の秋ではありますが、また大切な「読書の秋」でもあります。8月8日の立秋から早涼、新冷、9月の初秋、早秋、新涼、清涼をへて、10月の仲秋、秋冷、凄冷、秋長、そして11月の晩秋、暮秋、末秋、季秋と、先人はきめこまやかに秋を惜しみ愛でながら、読書に勉学に最も適した季節として、秋を美しく賞賛しているのです。

大いに本を読みましよう。ここには図書だけでも62万冊もの宝があなたを待っているのです。

[平成6年10月22日 記]

図書館利用者アンケート調査結果から

図書館とは何ぞや！

A. 図書館の利用度、利用の理由等について

【設問1】あなたは図書館をどのくらい利用しますか。(択一)

① ほとんど毎日	66(29.9%)
② 1週間に2～3日	83(37.5%)
③ 必要なときだけ	70(31.7%)
④ あまり利用しない	2(0.9%)

【設問2】(設問1で④を回答した方へ) その理由は何ですか。差し支えなければお聞かせください。

【設問3】あなたがよく使う設備はなんですか。(該当するもの3つ)

① 閲覧座席、開架図書	156
② 新聞・雑誌コーナー	155
③ 学術雑誌	30
④ 指定図書	38
⑤ ベストセラーズ	27
⑥ 参考図書・辞書	88
⑦ A/Vコーナー	13
⑧ グループ学習閲覧室	9
⑨ 閉架図書	15
⑩ 国連寄託図書館	0
⑪ 複写	18
⑫ その他()	

【設問4】あなたの図書館の使い方は、次のうち主にどれに該当しますか。(2～3選択)

① 主に授業の予復習、レポート・論文執筆のために使っている	170
② 主に定期試験中に使っている	89
③ 主に就職試験や資格試験受験勉強のために使っている	57
④ 主に普通の読書や、教養を身につけるために使っている	102
⑤ 主に学友との情報交換、サークル活動の場として使っている	9
⑥ その他()	

B. 図書・雑誌その他の資料について

【設問5】図書は、個人があまり長く帯出すると他の人が利用できないという事態が生ずる可能性がありますので、通常期においては最高5冊、帯出期間15日(学部学生の場合)としています。長期休暇の際は、特別貸出として長期貸出の配慮をしています。通常期の図書の貸出・返却についておたずねします。(択一及び記述)

① 帯出冊数、帯出期間とも拡大してほしい	10(4.5%)
② 冊数は現状でよいが、帯出期間だけ延ばしてほしい	21(9.5%)
③ 冊数は現状でよいが、帯出期間は短くしてほしい	6(2.7%)
④ 帯出期間は現状でよいが、冊数はふやしてほしい	13(5.9%)
⑤ 冊数、帯出期間とも現状でよい	159(71.9%)
回答なし	12(5.4%)

【設問6】本学図書館は図書を自由に手にとって閲覧できる開架方式をとっています。このことにおたずねします。(各設問で択一)

① 開架書架の図書が少ない	はい	72(32.6%)
	普通	123(55.7%)
	いいえ	17(7.7%)
	回答なし	9(4.1%)
② 古い図書が多い	はい	121(54.8%)
	普通	86(38.9%)
	いいえ	7(3.2%)
	回答なし	7(3.2%)
③ 新しい図書が多い	はい	8(3.6%)
	普通	109(49.3%)
	いいえ	96(43.4%)
	回答なし	8(3.6%)
④ 同じ図書が目立つ	はい	17(7.7%)
	普通	134(60.6%)
	いいえ	63(28.5%)
	回答なし	7(3.2%)
⑤ 閉架も自由に利用したい	はい	126(57.0%)
	普通	71(32.1%)
	いいえ	13(5.9%)
	回答なし	11(5.0%)
⑥ 図書の置き方が分かりにくい	はい	63(28.5%)
	普通	100(45.2%)
	いいえ	50(22.6%)
	回答なし	8(3.6%)
⑦ サイン(図書配架場所案内板)は分かりやすい	はい	64(29.0%)
	普通	114(51.6%)
	いいえ	34(15.4%)
	回答なし	0(4.1%)
⑧ 図書はいつも番号順に並んでいる	はい	35(15.8%)
	普通	115(52.0%)
	いいえ	63(28.5%)
	回答なし	8(3.6%)

今後の図書館運営の参考とするために、利用者の皆さんからご意見をいただいた。対象は学部、大学院を問わず無作為に221名の学生諸君であった。これは学生のわずか3%程度ではあるが、中身の濃い意見があった。感謝申し上げたい。時期的には、利用者の集中する時期を避け、前期試験終了後に実施した。その結果は、研究施設として、あるいは重要施設としていかにあるべきかなど、大変貴重な意見が見られる。無論、学生諸君自らの反省を促す意見もある。

以下に、調査結果を抜粋してご紹介し、簡単なコメントを付すことにした。意見の内容によっては、図書館としての正式な見解を述べることも必要だが、紙面が限られているので、それは別の機会に詳しく表すことを約束しておきたい。なお、設問文は、主旨のみとした。

★ ★ ★ ★

【設問1】図書館の利用度(択一)

①ほとんど毎日(29.9%)、②1週間に2～3日(37.5%)、③必要なときだけ(31.7%)が占めている。「必要なとき」というのは、試験期間中なども含まれていると思われる。

【設問3】よく使う設備(3択)

①閲覧座席(156名)、②新聞雑誌コーナー(155名)は一目瞭然である。3位は⑥参考図書・辞書コーナー(88名)。このコーナーは、各階、各学部分野ごとに設けているが、今後も専門分野の辞書のほか、一般辞書も充実させる計画をもっている。学術雑誌、指定図書、ベストセラーズがそれぞれ30名前後で続いた。かねてからベストセラーズは増冊とコーナー拡張希望があり、拡張の方法を鋭意検討したい。

【設問4】図書館の使い方(目的)(2～3択)

①授業の予復習、レポート・論文(170名)、②読書、教養(102名)が多い。定期試験中(89名)、就職試験・資格試験勉強(57名)が続いた。つぎに学友との情報交換、サークル活動が9名いたが、定期試験中のさわがしさの原因の一つはこういう使い方が慢性化したものであろう。

【設問5】図書の帯出数・期間(択一・希望)

現行は学部学生の場合、5冊を15日間帯出できる。⑤「現状でよい」が159名で圧倒的であった。1年前までは3冊15日間であったから、その際の改善が効果的であったと思う。

⑨ 国語、漢和、英文、和英等、共通的な辞書が少ない	はい	106(48.0%)
	普通	92(41.6%)
	いいえ	13(5.9%)
	回答なし	10(4.5%)
⑩ 図書閲覧後の図書返却台が少ない	はい	20(9.0%)
	普通	112(50.7%)
	いいえ	80(36.2%)
	回答なし	9(4.1%)

【設問7】 図書選書、収集の一環として、学生は図書館に置いてほしい図書・雑誌の購入希望を申し出ることができ、購入の是非は審査しますから、希望があっても購入しないことがあります。この制度を知っていますか。(択一)

① 知っているが、希望したことはない	90(40.7%)
② 知っている。希望を出したことがある	3(1.4%)
③ 知っているが、選書、収集は現状でよい	3(1.4%)
④ 知らない	118(53.4%)
回答なし	7(3.2%)

【設問8】 目録検索やコンピュータ端末の操作方法、あるいは記事の検索や図書の所在、機器の操作等に関して、利用方法が分からないときはどのようにしていますか。(択一)

① 図書館職員にたずねることが多い	57(25.8%)
② 先生、友人にたずねることが多い	18(8.1%)
③ いろいろな手段を使って、とにかく自分で調べる(自分で解決する)ことが多い	65(29.4%)
④ 分からないままにすることが多い	68(30.8%)
回答なし	13(5.9%)

【設問9】 視聴覚資料、新聞・雑誌についておたずねします。(各設で択一)

① メインカウンター横のビデオテープ展示は知っている	YES	173(78.3%)
	NO	40(18.1%)
回答なし		8(3.6%)
② もっと多くのビデオを展示してほしい	YES	164(74.2%)
	NO	47(21.3%)
回答なし		10(4.5%)
③ 劇場用映画は少なくして、学術ビデオを展示してほしい	YES	31(14.0%)
	NO	178(80.5%)
回答なし		12(5.4%)
④ ビデオ以外にLD、CDも展示してほしい	YES	161(72.9%)
	NO	49(22.2%)
回答なし		11(5.0%)
⑤ 視聴覚資料の目録は分かりやすい	YES	99(44.8%)
	NO	98(44.3%)
回答なし		24(10.9%)
⑥ AVコーナーは操作が簡単である	YES	115(52.0%)
	NO	80(36.2%)
回答なし		26(11.8%)
⑦ AVコーナーの座席数は十分である	YES	89(40.3%)
	NO	110(49.8%)
回答なし		22(10.0%)
⑧ 新聞の種類は十分である	YES	175(79.2%)
	NO	34(15.4%)
回答なし		12(5.4%)
⑨ 新聞閲覧座席は十分である	YES	92(41.6%)
	NO	118(53.4%)
回答なし		11(5.0%)
⑩ 雑誌数は十分である	YES	103(46.6%)
	NO	109(49.3%)
回答なし		9(4.1%)
⑪ 雑誌閲覧座席数(ソファ)は十分である	YES	98(44.3%)
	NO	112(50.7%)
回答なし		11(5.0%)

【設問10】 現在の図書館では、いろいろな情報を図書や雑誌だけでなく、コンピュータ端末、パソコン、電話回線など、さまざまなメディアを利用して幅広くかつ迅速に収集することができるようになりました。これらのことについておたずねします。(YES、NOで回答)

① 図書館の資料以外の情報の収集をしてみたい	YES	135(61.1%)
	NO	73(33.0%)
	回答なし	13(5.9%)
② CD-ROMや日経テレコンを使ってみたい	YES	101(45.7%)
	NO	104(47.1%)
	回答なし	16(7.2%)
③ 専攻している分野で、新しい情報を収集する必要がある	YES	105(47.5%)
	NO	101(45.1%)
	回答なし	15(6.8%)
④ 図書、雑誌の記事で十分である	YES	72(32.6%)
	NO	135(61.1%)
	回答なし	14(6.3%)

C. 支援態勢について

【設問11】 図書館設備の利用方法、図書や雑誌の検索方法、論文やレポート作成の参考資料の記事や文献の探し方など利用指導についておたずねします。(よいと思うもの全部)

① 入学時オリエンテーションでもっと詳細について説明すべきである	74
② クラスごとに行った方が効果がある	54
③ 新学期や後期開始後の一定期間、ツアーを募集して説明する	20
④ 必要ときに図書館で個別に指導を受けた方がよく理解できる	88
⑤ 利用指導が必要であるとは思わない	36

★新しい図書を増やす方法を考えたい

【設問6】 図書館の諸事情について (択一)

①開架(自由に手にとって閲覧できる書架)の図書数は「普通」(55.7%)、「少ない」(32.6%)が多数を占めた。②古い図書が多いかの間に、「はい」(54.8%)「普通」(38.9%)であり、逆の見方として③新しい図書が多いかの間の「はい」(3.6%)が少ないのは、実感として受けとめたい。

④は同じ図書が目立つかという問である。「普通」が60.6%と「いいえ」が28.5%であり、あまり目立つほどではないと解釈できそうである。

⑤閉架(一般に自由に手にとって閲覧できない貴重図書や、古い図書、あるいは教授研究図書やスペースの関係で開架に出せない図書は閉架に置いている)も自由に利用したいという意見は半数以上の57%である。

①から⑤までのことについて見解を述べてみたい。現在開架に置いている図書数は約17万冊であり、この数は決して小さくないと思っている。しかし、その中でも確かに古い図書や同じタイトルの図書が並んでいることも事実である。こうしたものを整理して、閉架に置いている学生に提供するにふさわしい図書を閉架に出せば、かなりの改善になると考えている。また閉架の一部を開架に変更するための検討も重要課題である。

★自分の目と手と足で図書を見つける

⑥図書の置き方が分かりにくいかの問には、「普通」と「いいえ」で合計67.8%である。これは⑦サイン(図書配架場所案内板)が分かりやすいかと関連するもので、⑦でも「はい」と「普通」が合計80.6%を占めた。概ねどの図書館でも誘導のためのサインは大同小異である。図書を分類規則に従って並べ、軽読書のためのブラウジングコーナー、学術雑誌のコーナーなどは構造上もまとまりを持たせてある。利用者はこの基本的な配列を覚えるとともに、図書館に慣れ、後は自分の目と手足を使って、経験を重ねることが大切であり、図書館の利用がうまくなる秘訣でもある。

それでは、⑧図書はいつも番号順に並んでいるのかの問である。これは「はい」(15.8%)と「普通」(52%)が多数を占めた。「いいえ」も28.5%あった。

われわれがしばしば気づくのは、利用者が書架で立ち見をした後、元のところに返さず、各棚の右側の空いているところに無造作ににおいているケースが多いことである。書架の間で立ち見をした図書は元の位置に返し、閲覧座席で利用した図書は

【設問12】わが国の大学図書館は、相互協力の申し合わせにより、他大学への文献複製サービスや図書の相互貸借、学生の利用（相互利用）等を行っています。この制度を知っていますか。利用したことがありますか。(択一)

① 他大学図書館やその文献を利用したことがある	12(5.4%)
② 知らなかった。これから利用したい	148(67.0%)
③ 本学の図書館で十分である	43(19.5%)

【設問13】(設問12で①を回答した方へ) 今まで利用したことのある大学図書館を教えてください。

D. 館内設備、秩序について

【設問14】照明、空調についておたずねします。(択一)

① 全般的に快適である	135(61.1%)
② 普通である	65(29.4%)
③ 全般的に暗い	2(0.9%)
④ 部分的に暗い所、不快な所がある(例:)	14(6.3%)

【設問15】新館の机・椅子・書架等はおおむね新調し、他の部分では旧時代の家具で利用できる物は利用しています。それらの備品についておたずねします。(該当するもの全部)

① 閲覧机、椅子などの備品は快適である	154
② 一部手直しが必要である(例:)	12
③ 古い物は新品に取り替えるべきである	10
④ 古くても使える物は使った方がよい	100

【設問16】入館システムを導入した目的の一つは、本学教職員・学生の権益を守るために、学外者の無断入館を防止することにあります。かつて学外者の無断入館が頻発し、本学学生の座席が不足したり、喧嘩に及ぶといったことがありました。そのため本学学生からも強い不満が出たことがあります。学外者の入館を制限していることについてどう思いますか。(択一)

① 学外者の無断入館は、防止するのが当然であるが、明確な目的をもち、手続をした者は認めてもよい	170(76.9%)
② ある程度の無断入館はやむを得ない	9(4.1%)
③ 学外者でも全面的に認めるべきである	18(8.1%)
④ その他()	9(4.1%)

【設問17】館内の秩序、雰囲気、あなたの感じ方についておたずねします。(択一)

① いつも静かなほうであると思う	72(32.6%)
② 全般的に静かだが、図書館の構造上、部分的に騒がしいと思う所がある(例:)	86(38.9%)
③ しばしば私語、雑談があり、迷惑。全般的(全館的)に騒がしい図書館である	33(14.9%)
④ その他()	

【設問18】私語雑談、飲食、喫煙への注意など、館内秩序維持・改善のため、定期試験時を中心に職員が巡回して注意などを与えました。この方策についておたずねします。(択一)

① 図書館職員が巡回して注意、指導を行い、それに従わない学生、規則を守らない学生にはペナルティを課すべきである	88(39.8%)
② 図書館職員が巡回せずとも、図書館を利用している学生が相互に注意し合うべきである	35(15.8%)
③ 図書館も、学生相互も注意する必要はない。利用者が多いときは少々秩序が乱れてもやむを得ない	3(1.4%)
④ 学生本人の自主性に任せるべきである	81(36.7%)

【設問19】あなた自身が図書館を利用しているうえで感じていること、改善点や、問題点などがあることがありましたら、お聞かせください。

【設問20】最後にあなたのことについて(該当箇所を○で囲む)(略)

返却台に返してほしい。皆がそうすれば、図書捜しの焦燥は少しは解消されるはずである。

⑨では国語辞典や英和辞典などの学部共通の辞書・辞典が少ないかとの間で、「はい」が約半数の48%、「普通」が41.6%であった。

専門分野を含めた辞書・辞典は多くて困ることはないという見方をしている。現在の所蔵数では少ないのかというのは状況がつかみ難いが、図書館利用者が多いときには、これらの辞書・辞典が相対的に不足することもあるであろう。本年度中から年度初めには増加できるものと考えている。

★欲しければ欲しがること、分からなければたずねること

【設問7】図書・雑誌の購入希望制度について(択一)

「知っているが、希望したことがない」(40.7%)

と、「知らない」(53.4%)が圧倒的であった。

どの図書館でも、利用者は図書や雑誌の購入希望を出ることができる。しかし、基本的にはその採否については図書館の財政、複本(同じ図書)所蔵の有無、同類図書の有無などによって決定されることが普通である。したがって、本学においても、無条件で要望を呑むことはないが、できるだけ本学学生の便宜を図るべきであると考えて対応している。

【設問8】機械検索の方法などが分からないときには、どうしているか(択一)

これは多分に個人の性格に左右されたような結果になった。①「図書館職員にたずねることが多い」(25.8%)、③「……とにかく自分で調べる」(29.4%)、④「分からないままにする」(30.8%)が目立った。②「先生、友人にたずねる」が18.1%と他に比べて少ないが、これはその場の対応ができにくいという結果であろう。

図書館職員は、利用者の質問に答えたり、利用のお世話や手助けをすることも仕事であるから、遠慮なく申し出てほしい。

【設問9】視聴覚資料、新聞雑誌について(各設問択一)の問は、顕著な回答を抜粋。

AVコーナーの利用度が高くなりつつあったため、1年前から、メインカウンター横にAVコーナー用のビデオソフトを展示している。②「もっと多くのビデオを展示してほしい」(74.2%)という意見が多く、③「学術ビデオを展示してほしい」(80.5%)、④「LD、CDも展示してほしい」(72.9%)などがかなり目立つ。⑦「AVコーナーの座席は十分である」で「NO」と回答したものが49.8%にも達したことを総合すれば、映像ブームが図書館にも波及し、これからも視聴覚設備はますます利用度が高くなると思う。ただ、図書館のAVコーナーやグループ視聴覚室は教室ではないので、あくまでも授業を補完するものとしての研究のための利用を期待するものである。

新聞雑誌及びそのコーナーについての問に対しては、⑧「新聞の種類は十分である」で「YES」(79.2%)、そのための座席が⑨「十分でない」(53.4%)という因果関係を示す結果が出た。雑誌については⑩「雑誌数は十分であるか」の問に対して「YES」(46.6%)、「NO」(49.3%)がほぼ同数である。いずれも新聞・雑誌に対する利用度の高さを示している。

【設問10】情報収集、機械検索について

図書館所蔵の図書・雑誌以外の資料やデータを収集するための手段は、電子メディアやオンラインなど、近年非常に機械化し、ハイテク部門の検

索機能が著しく、自館以外の多くの情報を収集することができるようになった。これらに関して問うた結果、①「図書館以外の資料を収集してみたい」では「YES」が61.1%、その根拠となる④「図書、雑誌の記事で十分である」で「NO」が全く同じ61.1%であった。

テキストや研究書に紹介される参考文献や論文、雑誌記事、最新の刊行物、あるいは新聞記事など新しい情報や過去の累積情報を検索するためには、機械検索が有効である。今後のレファレンスはこうした手段が主流を占めていくことになる。

★他大学図書館をどしどし使える

【設問11】利用指導の必要性について（該当全部）

図書館を有効に、むだな時間を少なく使うための利用指導を実施する図書館が多い。このことについては、ほぼ意見が分れた。

①「入学時オリエンテーションでもっと詳しく説明すべき」と思う者が74名いたが、④「必要なときに個別指導を受けた方がよく理解できる」者が88名いた。この④の意見はもっともであり、最も効果があると思う。われわれも利用指導の必要性は十分認識しているものの、実際に利用現場でじかに教えたほうがよく理解してもらえらると思っている。しかし、基本的な事柄に関しては、入学時やその他の機会を通して周知させる義務があるものとも思っている。ただ入学時オリエンテーション（チャペル）は入学者全員が出席している状態ではないようであるので、不徹底になっているのかもしれない。図書館を利用するに当たって分からないことがあれば、どしどし図書館員にたずねてほしい。

【設問12】他大学の利用について（択一）

わが国の大学図書館（短期大学を含む）は、そのほとんどが他大学の教員、学生にも自館を利用させ得ることができる相互利用制度に参画している。

67%の学生がこの制度を②「知らなかった」と回答した。これは意外というべきか。当然といえば指導不足との叱責を受けそうであるが、「これから利用したい」とも回答しているので、どしどし他大学図書館を利用してほしいものだ。ただし、マナーが悪ければ、本学の評価が落ち、その後の相互利用を断られる恐れもあるから、まじめな態度が必要である。

全国で出版される図書、雑誌、あるいは大学や研究機関で発表される論文等の量から見て、一館で所蔵する資料の量は極めて少ない。これに比べ、研究者の目的とするところは際限なく広く深い。

この研究活動を支援するためには、各大学が所蔵する資料を広く利用させることが重要である。こうした観点から相互利用制度が始まった。この制度によって他大学の図書館を利用するときは、所属大学図書館長の紹介状が必要である。紹介状はカウンターに申し込めば交付する。なお、この主旨からして、相互利用には明確な研究テーマを持つことが必要である。“帰省先の最寄りの大学で学習室代わり”程度の認識では許可はでない。

【設問13】相互利用でいままで利用したことのある大学（記述）

利用したことがある者から、その大学をいくつか紹介していただいた。やはり、地元の九州大学、福岡大学が多く、他に北九州大学、九州芸術工科大学等があった。ちなみに本学図書館にくる他大生は、九州大学、福岡女子大学、福岡大学、福岡女学院大学などが多い。

★快適すぎて騒がしい図書館になってはいけない

【設問14】照明、空調について（択一）

①「全般的に快適である」（61.1%）で決まり。②「普通である」（29.4%）も不快ではないと解釈すれば、全体で90%以上が満足しているものと思える。

【設問15】机、椅子等の備品について（該当全部）

①「全般的に快適である」という意見（154名）が多いのであるが、一部手直し、新品に取り替えてほしいとする意見もあった。しかし、④「古くても使える物は使ったがよい」が100名もおり、節約型意見はうれしい。

旧館部分の書架、4人掛け机及びその椅子、照明なしのキャレルは古い物であり、新館部分でも階段を上がった所の机・椅子は臨時に置いている物で、これも古い。4階の南側の4人掛け机・椅子も旧館時代のものだ。使える物はできるだけ使う方針だが、新しい図書館の美観にも配慮をしなければならぬと思う。

後述の設問19の記述式回答で「古くてよいからもっと机・椅子を出してほしい」という意見があったが、実は、旧館時代の机・椅子はほとんど出尽くしている。だから定期試験中の座席不足にはメモ台付きパイプ椅子を出すのが精一杯である。ただ、このように臨時的に提供できるための机・椅子をある程度準備しておくことも、これから鋭意検討していきたいと思う。

【設問16】学外者の入館について（択一）

①「無断入館防止は当然だが、明確な目的をもち、手続きをした者は認めてもよい」が76.9%と大きな比率を占めた。実はこれと似たことは既に

館長決裁で実施しているのだが、いみじくも将来考えねばならない一般開放に関連し、大学図書館が地域社会の人々に対応する、一つの礎石を与えられたような気がする。②「学外者でも全面的に認めるべき」(8.1%)という意見があった。しかし、一般開放が採用されたとしても「全面的に認める」という方式は採らないであろう。それは大学図書館は、高い専門性と品位を保つ必要があるからで、そのためには「一般開放」と「全面的に認める」こととは意義が異なると解釈すべきである。公共図書館なみの開放はできないと思う。

【設問17】館内の秩序、雰囲気について(択一)

①「いつも静かなほう」(32.6%)、②「全般的に静か……」(38.9%)が目立つが、「全般的に騒がしい……」も14.9%である。

【設問18】「私語雑談、飲食等への注意」について(択一)

①「図書館職員が巡回して注意を与える。規則を守らない学生にはペナルティを課すべきである」が39.8%である。

図書館は本来静かに勉強する場所なのであるが、本学では特に定期試験中が騒がしい。設問17で指摘があったように、静かに勉強している学生が大変迷惑を被っている。巡回などしたくはないのだが、他の迷惑になる学生には厳重に注意をし、図書館の静けさを取り戻したい。

②「学生が相互に注意し合うべき」という殊勝な考えを持つ学生が15.8%、④「学生の自主性に任せるべき」が36.7%とうれしい結果がでた。

③「利用者が多いときは少々秩序が乱れてもやむを得ない」(1.4%)の意見があった。われわれは決してあってはならないことだと考えている。

★大学図書館で研究する大学生たれ

【設問19】改善点、問題点等について(記述式)

多くの意見をいただいた。その中から目を引いたものの主旨を列挙し、図書館の見解を添えてみたいが、最初にお断りしたように、紙面の都合上、詳細は別途にすることをご了解願う。

1. 入館システムは面倒くさく、混雑しているときの対応を緩和してほしい。

現在は都合上3種類のバーコードが使われている。したがって、敏感に反応するものとそうでないものがある。今後はできるだけ性能のよいバーコードに統一する方針である。たまに読み取りにくいものがあるようだが、せっかちにならず、ゆっくりガラス面に向けてほしい。

2. 席取りが多く、朝早くから並んでも座れないことがある。席取りをなんとかしてほしい。

皆さんの意見をお借りすれば、学生同士で注意し合うほうがよいということになる。しかし、それは現実には難しいだろう。

席取りには、自分の席取りと友人の席取りがある。利用者が多いときにいったん館外に出て行くと、次に来たときには座れないので、席取りをする学生の気持ちはよく分かる気がする。1時限目がない友人に頼むこともあろう。こうして友人の席をいくつも取ると、朝早くから並んでも座席が取れないことがあるとのこと。座席というものは、先に来た者が優先的に座れるのが正当であり、禁止されている席取りを平然と行っている現実は反省すべきことである。

3. 試験中の騒がしさをなんとかしてほしい。

図書館に勉強をしないで雑談をしに来る学生は、図書館に来る資格を疑われてもしかたないのではないか。設問18でも指摘があったことだが、図書館では雑談をしない、どうしても話さなければならぬときは、極力小声で話すこと。図書館は会話をするところではないことを、みなで改めて認識する必要があると思う。

4. 飲食のできる部屋を作ってほしい。

この主旨の意見が数件あった。今のところ、このことは全く論外である。最近、ガムを噛んだままや、キャンディーを頬張ったまま勉強している者が多くなった。ジュース類を持込んでいる者もいる。そういう時代なのかもしれないが、本来ならこれも飲食であり、禁止すべきことである。毅然とした態度で勉強できないものかをつくづく思う。

5. ベストセラーを増やしてほしい。

書架スペースの拡張も平行して考えてみたい。

6. 検索の操作をもっと簡単にしてほしい。

平成7年度にコンピュータが更新され、それに伴って検索端末が各階に設置される。もちろん検索は対話式でいまよりずっと簡単に迅速になるはずである。ただ目録カードの分をこれから数年計画で入力するので、まだ古い図書は機械では検索できないことがある。情報化、合理化、迅速化を目指すためには、その準備に時間と予算が必要になるので、ご理解をいただきたい。

7. コピー代が1枚20円とは高い。

図書館の複写機は図書館資料を複写するために設置されているもので、ノートやその他の私物の複写は禁止していた。そして、料金を市中のコピーサービス程度に安くすれば、複写だけを目的に来館し、複写機がフル回転する。その結果、図書館

資料を複写しようとする者が複写できない事態が十分想定された。したがってそれを防止する意味でも、複写料金を安くすることはないのである。

★ ★ ★ ★

新しい図書館の利用開始後初めてのアンケート調査であった。学生、教職員の便宜を図るため

ろいろな設備や機能がまだよく理解されていない面があって、PR不足を痛感する。また、われわれが気づかないことについてもご教示いただいたようである。真摯に受け止め、最善の努力をして邁進したいと思う。

(篠崎 珣/情報サービス課長)

■ 閲覧・利用者(奉仕)の部 (平成5年度)

1. 入館者数(延べ数)

(単位:人)

項目 月	入館者総数	相互利用		
		特別利用 卒業者	他大学学生	他大学教員
4月	28,669	70	6	7
5月	29,162	35	23	5
6月	34,759	46	7	4
7月	19,646	55	15	8
8月	13,429	36	21	14
9月	50,361	35	27	2
10月	30,868	50	25	10
11月	28,305	33	13	0
12月	29,452	22	17	5
1月	48,565	39	12	5
2月	11,253	30	9	7
3月	8,435	51	8	8
計	332,904	502	183	75

2. 他大学図書館の利用許可願

(単位:件)

	国立大学 利 用				合 計
	国立大 利 用	公立大 利 用	私立大 利 用	その他	
学部学生	64	21	53	14	152
大学院生	24	2	5	0	31
教 員	30	18	41	20	109
職員その他	2	0	0	0	2
計	120	41	99	34	294

3. 文献複写件数

(1) 一般複写

	1階			3階			計
	1階	3階	5階	1階	3階	5階	
電子複写(枚)	81,822	69,542	—	—	—	—	151,364
マイクロフィルム(コマ)	—	—	—	—	—	—	—
マイクロフィッシュ(シート)	—	—	—	—	—	—	—
計	81,822	69,542	—	—	—	—	151,364

(2) 相互協力複写

(単位:件)

	国 内					国 外	
	国立大	公立大	私立大	国会図	その他		
受 付	53	108	597	0	14	0	
依 頼	教 員	96	7	160	4	1	8
	院 生	16	0	29	0	0	0
	学部生	4	0	20	2	0	0
	その他	1	0	3	0	0	0
計	117	7	212	6	1	343	

4. AV資料利用頻度

(単位:件)

種別 月	ビデオ	レーザー ディスク	CD	テープ	レコード	計
5	103(10)	35	4(1)	6	0	148(11)
6	69	99(1)	2	7	0	177(1)
7	69(6)	77	2	4	2	154(6)
8	26(3)	48	1(1)	11(6)	0	86(10)
9	27	37	1(1)	11(2)	0	76(3)
10	74(1)	127	1(1)	19(6)	0	221(7)
11	58(7)	100	0	24(7)	0	182(13)
12	61(7)	90	0	26(2)	0	177(9)
1	36(5)	13	0	26(7)	0	75(12)
2	24(2)	40	2(1)	7(1)	0	73(4)
3	19	14	0	7(1)	0	40(1)
計	631(54)	680(1)	19(9)	148(32)	2	1,480(94)

()内は個人所有資料の数

5. AVコーナー利用頻度

(単位:件)

年月	種別	1人用		オーディオ ブ ー ス	計
		AVブ ー ス	AVブ ー ス		
平成5年4月		54	11	6	71
5月		120	19	10	149
6月		133	23	21	149
7月		121	26	4	151
8月		69	5	12	86
9月		55	7	14	76
10月		163	41	16	220
11月		128	29	24	181
12月		126	16	24	166
平成6年1月		44	6	23	73
2月		61	1	9	71
3月		31	1	7	39
計		1,105	185	170	1,460

新着図書紹介



- <書名／編著者／出版社／請求記号>
 大学生のための研究の進め方・まとめ方(新版)／
 田代菊雄／大学教育出版／002. 0. 41
 学術情報の上手な仕上げ方／扇元啓司他／
 川島書店／007. 5. 16
 情報システム概論／菊池豊彦／コロナ社／
 007. 6. 112
 情報の達人・読書の達人／小川 明／PHP研究
 所／019. 0. 51
 日本思想の可能性／鈴木 正他／五月書房／
 121. 6. 14
 考古学と古代日本／森 浩一／中央公論社／
 210. 2. 130
 人間平岩外四の魅力／大野誠治／中経出版／
 289. 1H64. 2
 ポスト資本主義社会／P. F. ドラッカー／ダイヤ
 モンド社／304. 0. 227
 国連発ニッポン改造論／川村亨夫／ダイヤモンド
 社／319. 1. 126
 日米関係とマスメディア／石沢靖治／丸善／
 319. 1053. 29
 現代の不法行為法／棚瀬孝雄／有斐閣／
 324. 55. 101
 ケインズ以後の100大経済学者／マーク・ブロー
 グ／同文社出版／331. 2. 41
 経済の倫理／芹川博道／大修館書店／
 331. 15. 10
 「超」価格破壊の時代／長谷川慶太郎／東洋経済
 新報社／333. 6. 397
 ヨーロッパ連合への道／石川謙次郎／日本放送出
 版協会／333. 7. 48
 アメリカ企業が「復活」した理由(わけ)／松浦秀
 明／日本経済新聞社／335. 253. 17
 経営情報学への展開／山田健治他／成文堂／
 336. 17. 50
 自分を活かす職業の選び方／小島郁夫／日本実業
 出版社／336. 42. 5
 日本人の心と家／三浦朱門他／読売新聞社／

361. 42. 64
 メディアの欲望／渡辺 潤／新曜社／
 361. 45. 56
 日本の戦後補償／日本弁護士連合会／明石書店／
 369. 37. 23
 教育行政学／平原春好／東京大学出版会／
 373. 2. 152
 検証大学改革／黒木比呂史／論創社／
 377. 21. 35
 祭・民族・文化／芳賀日出男／クレオ／
 386. 1. 14
 人類学フィールドワーク入門／J. G. クレイン／
 昭和堂／389. 0. 154
 無限のパラドックス／R. スマリヤン／白揚社／
 410. 0. 86
 地図のワンダーランド／堀 淳一／小学館／
 448. 9. 19
 情報スーパーハイウェイの脅威／江戸雄介／
 ディーエイチシー／547. 0. 42
 比較・世界のテレビCM／八巻俊雄／日経広告研
 究所／674. 6. 3
 新規市場創造プログラム／通商産業省／通商産業
 調査会／675. 0. 15
 異文化間ビジネス戦略／榊 博文／同文館出版／
 675. Sa31. 1
 日本の国際物流システム／宮下国生／千倉書房／
 680. 0. 11
 歌舞伎入門事典／和角 仁他／雄山閣出版／
 774. 0. 34
 英語イントネーション論／渡辺和幸／研究社出版
 社／831. 4. 2
 現代批評理論／レントリツキア他／平凡社／
 901. 4. 28
 劇的な精神福田恆存／井尻千男／日本教文社／
 910. 268F74. 1
 劇場人シェイクスピア／安西徹雄／新潮社／
 932. Sh12. 47
 幻影のフランス／窪田般弥／小沢書店／
 950. 4. 45
 ズボンをはいたロバ／アンリ・ボスコ／晶文社／
 953. B66. 4
 (94年10～11月新着和書の一部抜粋です)

編集後記

図書館報は、利用者へ図書館活動や案内をお知らせするものでありましたが、今回は利用者側から見た図書館として点検してみるためアンケート調査を実施しました。今後も調査等を実施して、皆様のご意見を伺いたいと考えています。(編集委員)